

都市再生整備計画(第3回変更)

おうら中央地区

群馬県 邑楽町

平成30年1月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	群馬県	市町村名	オウラマチ 邑楽町	地区名	チョウオウチク おうら中央地区	面積	931 ha
計画期間	平成 26 年度 ~ 平成 30 年度	交付期間	平成 26 年度 ~ 平成 30 年度				

<b>目標</b>
<p>大目標 行政・文化・レクリエーション施設の集約による利便性の高いまちづくり</p> <p>小目標① 文化施設として、多目的ホールを備えた中央公民館(地域交流センター)を新設し芸術に身近に触れ合える環境を創出すると共に、生涯学習の成果発表の場を提供し、住民の交流をはかる。</p> <p>小目標② 多目的広場の整備を行い、祭りをはじめ、さまざまなレクリエーションを大々的に行う場を創出し、町民の一体感を醸成する。</p> <p>小目標③ 周辺の歩道整備及び案内板設置を行い、都市基盤の整備水準の向上をはかる。</p>

<b>目標設定の根拠</b>
<p>まちづくりの経緯及び現況</p> <p>・邑楽町は、首都東京から約100km圏内の群馬県南東部に位置しており、栃木県足利市、群馬県太田市、館林市、千代田町、大泉町と隣接しています。現在人口は約27,000人、面積は31.12km<sup>2</sup>で白鳥が飛来する多々良沼やおうら中央公園やすらぎの池、親水性の高い孫兵衛川などをはじめ、町内に数多く点在する平地林や群馬県の穀倉地帯としての一角を担う恵まれた自然、田園環境を有しています。また、住宅団地及び工業団地等の開発も着実に行われてきており、緑豊かな自然環境の中で新たな都市建設が進んでいます。邑楽町のほぼ中央に位置する、おうら中央地区は、「邑楽町総合計画」及び「邑楽中央公園基本計画」に基づき、行政・文化の集積地として役場庁舎を始めとした公共施設の集約を図ってきた地域です。</p> <p>・邑楽町は、昭和の合併で旧三村(中野村・高島村・長柄村)が合併して出来た町で、現在でも各旧村単位にそれぞれ小規模な公民館があり、小学校区が旧村単位で区分けされていることもあり、旧村意識が少なからず残っています。そのため、おうら祭り・産業祭・町民体育祭等多くの町民が一同に介するイベントを毎年い、それぞれの地域にある公共施設をおうら中央地区へ集約し、町の一体感を醸成を図ってきました。また、公共路線バスを運用するなど、交通の利便性も高めています。</p> <p>【現況】</p> <p>これまで既存の事業制度を利用しながら展望タワー(H5.5)、図書館(H7.1)、農畜産物加工直売所(H8.3)、保健センター(H18.8)、役場庁舎(H20.3)などの整備を行ってきており、残る整備は中央公民館と多目的広場の整備です。図書館は、県内利用率第一位を14年間誇っているほか既存の公民館集会所の利用率もほぼ100%で、住民の学ぶ意欲・意識は非常に高いものがあります。中央公民館新設については平成に入り町民から2度に渡り請願が提出されるなど、町民の生涯学習施設整備に対する期待が高く、文化・芸術活動に対する下地が整っており、中央公民館を建築することにより、一層の文化・芸術・生涯学習活動の高揚が期待されます。</p>
<b>課題</b>
<p>公民館は、昭和の合併前の旧村単位に各1施設、計3施設ほど小規模なものがあり、それぞれ独自の事業を展開していますが、施設の老朽化が進み、コスト縮減の中で段階的に施設の集約が求められています。また現在は一定規模の町民が一堂に会して学び交流することの出来る文化的な施設が存在しないことから早急な整備が望まれています。</p> <p>祭り等を実施予定の多目的広場は、現在中央公民館の建設予定地等を利用して祭り等のイベントを実施しているため、中央公民館と一体的に整備する必要があります。</p> <p>おうら中央地区は、既存中心市街地に隣接していないため一体感に欠けます。そのため、歩道未整備のアクセス道に歩道を整備し、合わせて行政・文化集積エリアへの案内板を設置することで、人の誘導を円滑にし、町の一体感を醸成を図りたいと考えます。</p>
<b>将来ビジョン(中長期)</b>
<p>公園を中心に行政・文化・レクリエーションなどの機能を備えた、おうら中央地区の整備を着実に進め、新たな「町の核」を創造するとともに、近隣の交通アクセスの強化などを図ります。また、既存施設を含めた複合利用を推進するため、広報紙・ホームページ等で積極的に町民へアピールするとともに、新たな利活用を町民とともに模索していきたいと考えます。</p>

<b>目標を定量化する指標</b>							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
文化施設(ホール)のイベント集客数	集客数/年	地域交流センター(ホール)のイベント集客数	町民が芸術・文化に触れ合う機会を創出と共に、生涯学習成果等を発表する場を提供する。	6000	H24	9670	H30
公園のイベント開催数	イベント数/年	多目的広場のイベント開催数	町民全体で、集まれるイベントを行い町の一体感を醸成する。	2	H24	3	H30
歩道整備率	%	おうら中央地区周辺の歩道の整備状況	歩道を整備することにより、住民へ安心安全な生活環境を提供する。	19.48	H24	20.51	H30

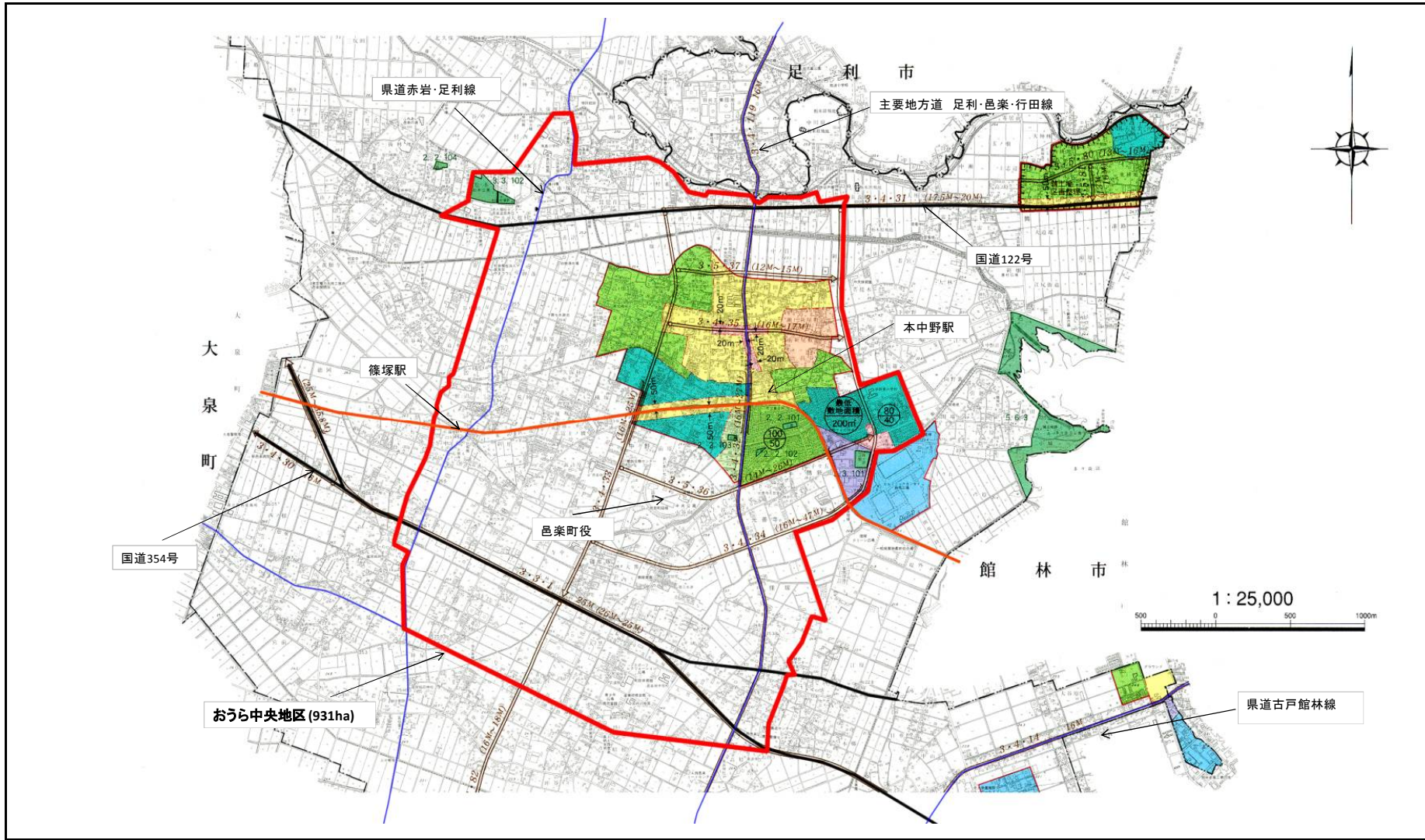
## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・文化施設として、多目的ホールを備えた中央公民館(地域交流センター)を新設し芸術に身近に触れ合える環境を創出すると共に、生涯学習の成果発表の場を提供し、住民の交流をはかる。 町民に生涯学習の成果を発表する場を創出し、町民どうしの交流を図るとともに、質の高い芸術文化に接する機会を提供し、芸術文化に対する意識向上に繋がります。</p>	<p>【基幹事業】 高次都市施設：邑楽町中央公民館</p>
<p>・多目的広場の整備を行い、祭りをはじめ、さまざまなレクリエーションを大々的に行う場を創出し、町民の一体感を醸成する。 町民の軽スポーツ等の健康づくりや、憩いの場を創出するとともに、祭り等のイベントを行い町の一体感を醸成を目指します。</p>	<p>【基幹事業】 公園：おうら中央多目的広場</p>
<p>・周辺の歩道整備及び案内板設置を行い、都市基盤の整備水準の向上をはかる。 既成市街地とおうら中央地区を繋ぐ道路に歩道を整備することにより、交通弱者である歩行者が安心して通行できる利便性の高いまちづくりを目指します。</p>	<p>【基幹事業】 道路：町道9-139号線外2路線 地域生活基盤施設：案内看板</p>
<p>その他</p>	



都市再生整備計画の区域

おうら中央地区(群馬県邑楽町)	面積	931 ha	区域	邑楽町大字中野
-----------------	----	--------	----	---------



## おうら中央地区(群馬県邑楽町) 整備方針概要図

目標	行政・文化・レクリエーション施設の集約による利便性の高いまちづくり	代表的な 指標	文化施設(ホール)のイベント集客数 (集客数/年)	6000	(24年度)	→	9670	(30年度)
			公園のイベント開催数 (イベント数/年)	2	(24年度)	→	3	(30年度)
			歩道整備率 (%)	19.48	(24年度)	→	20.51	(30年度)

